

補正予算、ほか1件を否決

あらまし

令和元年12月定例会は、11月28日から12月11日までの14日間の日程で開催されました。市道の廃止・認定、市民会館耐震補強及び改修工事請負契約の変更、公の施設の指定管理者の指定、補正予算などの40議案が提出され、一部を除いて各常任委員会へ付託し、慎重に審議を行いました。一般会計補正予算と市長の給与支給条例の一部改正については否決し、そのほかの議案については、原案のとおり可決、承認しました。

市長専決処分の報告

公用車の事故について、専決処分の報告（和解及び損害賠償の額を定めることについて）がありました。

市長専決処分の報告と承認

「令和元年度渋川市一般会計補正予算（第5号、第6号）」について、2議案とも全員一致で承認しました。

市道の廃止・認定

上信自動車道道路整備に伴う市道の付け替えなどにより、祖母島の2路線を廃止し、祖母島、有馬、中村、小野子などの6路線を認定するものです。全員一致で

可決しました。

公の施設の指定管理者の指定について

体育施設（学校運動場等 照明施設ほか17カ所）、交流促進センター、小野上農林漁業体験施設、都市公園等（上ノ山公園ほか27カ所）について、令和2年4月1日からの1年間、公共施設管理公社、ケービックス株式会社を指定し、施設の管理を行わせるものです。3議案とも賛成多数で可決しました。

公文書等の管理に関する条例

公文書を市民の財産と位置づけ、その適正な管理及び歴史的公文書について必要な事項を定めるもので、全員一致で可決しました。

置づけ、その適正な管理及び歴史的公文書について必要な事項を定めるもので、

全員一致で可決しました。

交通指導員設置条例の廃止

法改正により、交通指導員が特別職非常勤でなくなるため条例を廃止するもの。全員一致で可決しました。



市民の安全を守る交通指導員

渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部改定

正

を制定するものです。全員一致で可決しました。

市民会館耐震補強及び改修工事の工期延長により、各種イベントのスケジュールや会場の変更が行われ、市民等の文化活動に影響が生じたことを鑑み、市長の期末手当を20パーセント減額するものです。賛成少数で否決しました。

補正予算

令和元年度一般会計補正予算（第7号）は、歳入、歳出それぞれ1億1303万円を追加、総額382億2596万7000円とするものです。

主なものは、職員人件費、救急医療体制の充実に向けた検討推進事業、東京2020オリンピックピック・パリリンピック推進事業などです。賛成少数で否決しました。

市営伊香保温泉駐車場条例

八千代橋駐車場の供用開始及び渋川市営駐車場条例で規定する駐車場のうち伊香保温泉観光施設事業特別会計で所管している駐車場を別途管理するため、条例

特別会計補正予算については、6議案とも全員一致で可決しました。

常任委員会の審査

総務市民

洪川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例

市民会館の耐震、改修工事の工期延長により市民等の文化活動に影響が生じたため、市長の期末手当を20パーセント減額するもの。賛成少数で否決しました。

質疑 市民に迷惑をかけたという理由での減額だが、責任の取り方が違うのではないか。

答弁 責任の取り方は色々あると思いますが、開館が遅れ会場変更や中止など、市民に迷惑をかけました。開館時期の設定など配慮すべきで、工期に無理があつたことについて反省していません。期末手当を減額することでの気持ちを表し責任を取りたいと考えます。

洪川市民会館耐震補強及び改修工事の請負契約の変更について

建築主体、電気設備、機械設備工事について、3議案とも全会一致で可決しました。

質疑 今回の増額分は、ダクト配線の工事等との説明だが、現地を確認したら完了している。議会議決してから工事着工すべきものが、既に工事が終わっているのは、どういうことなのか。

答弁 最終的な手直し等もありますが、設計変更がない



リニューアルされる市民会館

ドラインで、軽微な変更については工期末での変更手続きでよいとされているため、12月定例会で、変更をお願いすることになりました。

質疑 どのような耐震補強を行ったか。また、建物の傾き等の問題はなかったか。

答弁 主に、大ホールの屋根を支える部分や天井の補強を行いました。傾き等については調査の結果、安全に問題はないと考えています。

経済建設

洪川市伊香保温泉浴場石段の湯条例について

条例の評価・見直しの審査結果に基づき、条例の全部を改正しようとするものです。全会一致で可決しました。

質疑 市営温泉の障がい者及び市内高齢者の使用料が施設により差異がある理由は。



心も温まる石段の湯

答弁 施設の設備状況（サウナ等）によるものと、併前の使用料を継続しているため使用料に差が生じているものです。今後は、料金について見直し、調整していきたいと考えます。

公の施設の指定管理者の指定について

ケービックス株式会社を洪川市交流促進センター及び洪川市小野上農林漁業体験施設の指定管理者に指定し、施設の管理を行わせるためのものです。全会一致で可決しました。

質疑 指定管理期間が1年間であるが、その理由は。

答弁 観光施設等あり方検討委員会が民間への譲渡方針を受け、温泉センター等とあわせて譲渡するのが適当と考え、指定期間の終了期をそれらとそろえるためです。

委員会協議会 洪川市農林業振興計画（案）について

この計画は、洪川市の農林業振興に向け、将来の目指すべき姿とそれを実現するために策定するものです。

質疑 市の方針としては、どのような作目に力を入れていくのか。

答弁 農業者の意見を聞きながら、畜産、野菜栽培を中心に進めていきます。

質疑 振興計画を進める上での意見収集はどのように行うのか。

答弁 各種農業団体と情報交換を重ねていきます。また、収穫体験等を通して、消費者の意見も収集していきます。

教育福祉

公の施設の指定管理者の指定について

渋川市体育施設（渋川市学校運動場等照明施設ほか17カ所）について一般財団法人渋川市公共施設管理公社を指定管理者として令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間、施設の管理運営を行わせるものであり、既に管理運営をしている公園、体育施設等を一体的に管理するものです。多数決で可決しました。

質疑 指定期間が1年となっているのはなぜか。

答弁 そのほかの施設の指定管理期間が、令和3年3月31日となっており、その後の期間を統一するため1年としました。

質疑 渋川市公共施設管理公社の評価は。

答弁 平成27年5月31日に評価し、及第点を超える評価となっています。

予算

一般会計補正予算（第7号）は賛成少数で否決しました。国民健康保険特別会計など6つの特別会計補正予算は全会一致で可決しました。

総務費

質疑 庁内の調査委員会で外部委員の報償費が見当たらないがどこに計上しているのか。また人事異動により参事である政策主監を部長級としているのは、給与条例主義違反に当たるのではないか。

答弁 外部委員の報償については、総務費内で流用しています。参事については部長級の心構えで取り組んでいます。

時間外勤務手当

質疑 人事異動により、時間外勤務手当が大きく増額している。過労など健康問題に直結する。どのように対応しているか。

答弁 ささまざまな行政要望

に対応するため、業務量は増大しています。業務内容など見直し、効率的に業務ができるよう注意をしています。

救急医療体制の充実に向けた検討推進事業

質疑 ドクターカー導入の道筋、救命医確保の考えは。

答弁 医師会、医療センター、消防本部などで構成する委員会で、ドクターカー導入に向けた検討をしています。医師確保については、さまざまな機関と連携していきます。財政支援も必要と考えます。



導入について検討されるドクターカー

歴史的価値のある硯石の掘り起こしに関する特別委員会

令和元年9月定例会において「硯石の掘り起こしに関する特別委員会」を設置しました。

「硯石」は、北橘町の赤城南麓広域農道（からつ風街道）沿いの市有地にある大石で、親鸞上人が硯として使ったとの伝説があります。

この「硯石」を現職市議が、市の正式な手続きを取らず掘り起こし、市の担当者には文書での手続きをせず口答で受け入れたと新聞報道がされました。この報道を受け、市議が行った事案について、議会として調査が必要ではないかと議員提案が出され、可決し、設置したものです。

基本的に週1回の委員会を開き、この間に当事者を含む関係者9人から、硯石の掘り起こしに関する事項について聞き取り調査を行ってきました。

聞き取りをした中で、発

言内容に食い違いが出ており、今後は、聞き取り内容及び事実関係を精査し、まとめた上で、議会に報告する予定でいます。

また、特別委員会では、参考にするため、市に対して「渋川市行政事務執行の適正化に関する調査委員会」の会議録及び会議資料の開示を求めましたが、回答は、現在審議中であり、意思形成の過程にある会議録または会議資料は非公開とするとのことでした。

硯石の掘り起こしに関する特別委員会

委員長	田邊 寛治
副委員長	角田 喜和
委員	田中 猛夫
	池田 祐輔
	細谷 浩
	山崎 正男
	安力川信之
	茂木 弘伸

討 論

12月定例会では議案3件について、討論が行われました。主な討論の概要を報告します。
 討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることを言います。

「令和元年度渋川市一般会計

補正予算(第7号)」

賛 成

今回の補正予算は、本市を取り巻く諸課題に迅速に対応し、施策を推進する取組みが盛り込まれている。特に「東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業」では、前回大会の昭和39年10月以来56年ぶり国内開催の気運を高めるため、県内15市町村で聖火リレーが予定され、渋川市では4月1日に聖火リレーがスタートする。前夜祭及び出発式等を開催することにより、市民に聖火リレーの感動を記憶に残してもらい、後世に語り継がれることを願うのが主力の予算である。

反 対

硯石の問題で、庁内行政事務執行の適正化に関する調査委員会の外部委員報酬は予算化した後に執行するのが妥当である。行政改革推進費を減額したのも問題である。行政改革は渋川市の重要課題である。さらに市職員の給与に関する条例では、部長と参事は職務に区別があるにも関わらず参事に部長の職を担わせるのは条例違反である。
 現在市の職員が疲弊し閉塞感が漂っている。予算を否決し市長は反省すべき点を反省し、改めて臨時議会を開催し市民要望に応えることを望む。

議員全員協議会のあらまし

第2期渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、これに向けた取り組みを重点的に推進してきたが、人口減少・少子高齢化に歯止めがかからない現状を踏まえ、地方創生の一層の充実・強化を図るため、中長期的に人口減少に対して取り組む必要があることから、第2期総合戦略を策定し、さらなる充実・強化に向けた取り組みを継続的に推進するとの説明がありました。

渋川市民会館耐震補強及び改修について

平成30年9月定例会において契約議決を受けて着工したが、定例会で工事内容の周知や意見の反映が不足しているという指摘を受け、改めて内容の精査を行い、追加工事に必要な補正予算と変更契約の契約議決を受

けました。その後、オリンピック・パラリンピックの関連工事を起因とする全国的な「高力ボルト」の不足から、工期延長の契約議決を6月定例会で受け、12月定例会で工事契約変更の議案を提案し、2月15日に完成の予定です。工期延長に伴い、予定していた市民会館の実施事業は、日程変更、会場変更等で調整したとの説明がありました。

【第1回】臨時会のあらまし(12月19日開催)

【専決処分の報告】

個人所有の乗用車が市道走行中に、側溝グレーチングの跳ね上げにより破損した事故について、和解及び損害賠償額の報告がありました。

【一般会計補正予算】

12月定例会で市議会から指摘された、行政事務執行の適正化に関する調査委員会の外部委員の報償費等13万7000円を追加したもので、全員一致で可決しました。

渋川市議会はインターネット中継しています。市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>

パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。



左のQRコードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。